

# BPW News Letter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



Japan

2005.3.8

International Women's Day  
Vol.80

## 特集

新年度スタートに際して

### [CONTENTS]

巻頭

「女性のリーダーシップが求められる」  
連合会会長 平松昌子

2004年度第2回評議会報告  
評議会後の意見交換会  
(各クラブ代表の意見紹介)

スィスコンgres・プログラム

事務局からのお知らせ  
・UN-CSW インターン NY へ出発  
・2005年連合会役員紹介  
・その他  
編集後記

日本BPW連合会ニュースレター

発行人: 平松昌子 広報委員会編集

日本BPW連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail=info@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

## 今、女性のリーダーシップが求められる時

日本BPW連合会会長 平松昌子

2004年は、日本そして世界が、災害に襲われた年として記録されるだろう。台風、地震。そして最後は、インドネシア沖地震によるTSUNAMI 日本人にも多くの犠牲者がでた。このTSUNAMIでは、BPWの会員相互のメールを通して、マスコミではわからない現地の動きが伝えられた。その一連の災害情報を通して、一国が一国だけでは終結しない時代であること、災害後の対応は勿論、災害防止への対応に、女性たちが重要な役割を果たすべき時代にきていることを考えさせられた。

女性の役割を考えた背景には、この一年は、日本BPW連合会の会長として、ほぼ隔月で海外での国際会議に出席したことが関係している。出席前には発言を準備し、帰国後は報告書を作り、報告会に出席する。このこと自体ものすごくエネルギーを必要とすることではあったが、世界の流れ、特に女性問題を中心にした動きや状況を体感することができた。そしてその結果、今、私が主張したいのは、**“安定した世界平和と発展のために、私たち女性が、リーダーシップを持つことが必要であり、そのために専門的な知識や行動するための技術を学ばなくてはならないということ”**である。裏付けのない思いつきの発言は意味がないのである。

2004年、私が出席した6つの会合で共通していたのは、男女共同参画社会の実現を目標にして、そのために何をするか、何が出来るかを検討し、さらにはそれら成果を検証し、今後の対応を提案するという方向性だった。また、それぞれの会合でこれをリードするすてきな女性たちに出会った。広い見識と豊かな経験を持つ女性たちがその指導性を発揮したとき、会合はより実りあるものになり参加者に大きな果実をもたらす。

会合の種類、テーマあるいは参加者によって、その具体的な対応は異なるが、議論の下敷きに北京行動綱領を据えることで、世界の女性たちが共通の視点で議論できる仕組みが出来つつあることも体験した。もちろん、北京行動綱領が目指すところは男女差別の解消であり、12の重要領域を含んでいるが、これではフォローしかねるテーマ(高齢化や海外移住労働など)が生じているのも事実だ。その国際的な点検作業は2005年3月NY国連本部での女性の地位委員会で行われる。

女性がリーダーシップを発揮すべきだと知ったもう一つの事例を、私は、カイロで行われた女性指導者たちとの交流から学んだ。北カイロを埋めていたゴミ問題を解消するプロジェクトを現地で見聞した際、気づいたことだ。これにはイタリアの企業、エジプトの国家母子評議会(女性問題を担当する非政府組織)それに地元の女性NGOが参加し、3者の役割がかみ合っただけで成功した事例と報告された。女性のリーダーシップなしに企業だけでは成功しなかったと言われている。このプロジェクトの中心にいたのは女性指導者たちで、地元住民に対する日常のごみ教育から、長期的生活改善策、さらには地元及び投資側の収益性などを総合的にみて活動した。

2005年、女性たちがリーダーシップを発揮できるように環境整備をすすめること、それこそBPWが担っている使命であると私は考えている。

(2004年会報 Vol.36より抜粋)

2004 年度第 2 回評議会報告

日時:2005 年 1 月 9 日(日)

於:東京八重洲ホール

議 題

- 1) 規約改正案について…役員会提案(会報 p.21)  
 第 14 条 役員構成に関して  
 提案理由:ヤングメンバーの活性化を図り、当団体が将来に向けた事業活動(これからの女性のための活動)ができるように、役員会メンバーとしてヤング BPW 委員長を加える。  
 BPW-student (BPW-S) 会員について  
 提案理由:次のヤング会員候補である BPW-S 会員との交流を深める目的と、また、BPW-S にとっても、BPW 会員と連携することは将来にわたって有用な機会である。BPW-S という組織は、日本 BPW 連合会からは独立したものととして設立したが、連合会としての対応を明確にする意味で、第 17 条の常任委員会・ヤング BPW 委員会の中の機能の中に明文化する。  
 いずれの案にも質問・異議なく承認。
- 2) 2004 年度事業報告(会報 p.8)  
 名古屋大会および各国内活動・国際活動を報告。  
 質問・異議なく承認。
- 3) 常任委員会活動報告(会報 p.9~)  
 質問・異議なく承認。
- 4) 2004 年度 会計報告・会計監査報告(会報 p.16~)  
 いずれにも質問・異議なく承認。
- 5) 2005 年度統一テーマ(案)及び活動方針(案)  
 (会報 p.18)  
 統一テーマ“A World of Peace”世界の平和に向けて  
 サブテーマ:~政治・女性・リーダーシップ~  
 BPWI3 年度計画最終年として 2005 年は政治の分野を取り上げるようになっていたが、あえてリーダーシップを掲げたのは、男女共同参画社会の実現に向けて、私たち女性が今問われているのは、まさしくリーダーシップだからである。それぞれの分野で女性がいかにリーダーシップをとれるか。そのために何が欠けていて、何をしなければならないか…。  
 日本の女性たちが持つリーダーシップ度がいかに遅れているかは、国連の統計を見るまでもない。国会議員、地方議員における女性の少なさ。さらにはその議会運営への影響力の少なさ。企業においても然り。マスコミにおいても然り。もちろん行政も例外ではない。女性の社会進出は増えている。しかし、今、私たちがしなければならないことは、政策決定への参加度を高めることである。  
 これらの遅れを取り戻すために、私たち自身が

リーダーシップ度を確立する努力をしなければならない。そして、今年をそのスタートの年にしたい。

活動方針

本年度は、この統一テーマを柱に、女性たちが優れた指導性(リーダーシップ)を持つことで、政策決定への参加を押し進めることを活動の基本方針に掲げたい。各クラブにおいては、以下の活動を推進して頂きたい。連合会はこれらの活動推進のための情報提供に努め、その力を結集して大きな成果が得られるように支援していきたい。

組織の見直しと強化:会員一人一人の役割、そして各クラブの活動のあり方を見直す。連合会の役割を見直しながら前進する。

若い世代の育成と支援:国連インターンシップやスピーチコンテスト等の若い女性たちへの支援活動を強化するとともに、第 1 回参加者を核に組織された BPW-S の動きにも配慮していく  
 高齢化する会員構成への対応:永年仕事を続け、女性の社会的進出に貢献してきた会員が年金時代を迎えているなか、女性に対する老後の社会保障の充実、とくに男女格差の是正に取り組む。

さらに、国際化時代に対応して連合会を中心に国際的な交流を推進し、2005 年 6 月に開催される“スイスコンgres”など、さまざまな国際的活動への参加を積極的に呼びかけ、単に参加するだけではなく、夫々が何らかの役割を果たすよう努力する。

質問・異議なく承認。

- 6) 2005 年度 事業計画(案)(会報 p.19)

質問・異議なく承認。

- 7) 2005 年度 予算(案)(会報 p.20)

質問・異議なく承認。

- 8) 選挙について…選挙管理委員長より

立候補なく、推薦状が仙台・和歌山各 1 名、東京 3 名が期限内に届いた。その後、欠員については役員会推薦となった。選挙運用細則第 7 条 1 項により「定数を上回る役員」がないため、総会における選挙は行わない。同第 8 条により 本結果を総会において報告したのち、当選者を確定する。郵送にかえて、当評議会で報告。

- 9) その他

第 40 回総会についての各種連絡・確認事項

会員アップクラブ表彰について…2005 年 1 月 1 日現在の会員数で、2005 年 1 月末迄に入金したクラブで、会員数が 12%アップしたクラブを仙台大会で表彰。

ブロック委員選考について…メールで意見交換の出来る方で、常任委員長・各委員会活動にご協力できる方を推薦・登録の依頼。2 月 14 日迄に事務局へ提出。

## 意見交換会

## テーマ「今後のBPWのあり方」「財政難解決法」

討議終了後、各クラブ代表の意見を聞きましたので、その概略を紹介します。テーマとはやや異なる発言もありましたが、より多くの意見を知って頂くために、敢えて掲載しました。(北・南から交互に発言)

**札幌クラブ:** 日常の活動の中で、基本的なことを地道にやるというポリシー。会員を減らさない努力。例会に必ずビジターを誘う(同伴出席)。大きな変化はないが、少しずつ前進。新たなリーフレット作成(新しい情報が必要。全会員が組織拡大に利用)30周年およびブロック研究会の講演会・シンポジウム収録集の発行。

**長崎クラブ:** 若い会員を増やすために、企業訪問をしたが、例会に時々参加しても会員にはならない。会員増の必要があるのか? 少数精鋭では駄目かという意見も…。女性問題への関心が薄い(経営者が多いとなかなか難しい現実)。

**旭川クラブ:** 会費が一番高いが、会員が少なく(10名)停滞気味。他のクラブの活動内容を聞いて参考にしたい。ブロック研究会やヤングスピーチコンテストが何かのきっかけになればと期待している。

**福岡クラブ:** 歴史あるクラブだが、会員の高齢化が問題。高齢会員が、功なり名を遂げると、発足当時の問題意識が薄れる。退職した人は、友好の場としてBPWを利用。40代前後はまだまだ問題意識があるのに、世代間の意識較差のために、例会運営がうまくいかない。スピーチコンテストを若い会員の獲得の場にしたい。(これしか、方法がない)

**苫小牧クラブ:** 高齢者は若い人に知り合いがない。資金難解決に、フリーマーケット。(スピーチコンテスト参加の資金調達のため)もっともっと active な活動をしたい。会則変更(会員になるための推薦者2名というルールを変更。会期変更などの案も)。連合会リーフレットの活用。講演をした人などを会員に勧誘している。

**和歌山クラブ:** 行政に関係ある会員が多いため、例会での発言内容にも考慮するようなどころがある。行政の事業に協力しながら勉強している。次世代を勧誘しようとしている。

**青森クラブ:** かつて45名の会員が半減少したが、カメのように地道に。青森市の女性団体からはBPWの活動が注目されている。若い会員を役員にし、企画を担当。年会費20,000円(+毎月3,000円)レクリエーションも企画。

**香川クラブ:** 会員10人減…たまたま会員がその年代になっただけの狭間と捉えている。再度立て直しを! 現役で働いている会員が多い。スピーチコンテスト出場者から「役職が重い、意義が見出せれば会員になる。」のコメントあり。

**仙台クラブ:** 他クラブと同じ悩み。ゲスト参加しても、なかなか会員にはならない。会員の意思を尊重しすぎたという反省(もっと引っ張っていかばいいのか?)

**関西クラブ:** 年2回だけの評議会だから、議案の内容にもっと踏み込んで討議をすべき。(例えば名簿の件。新役員にちゃんとやって欲しい。)クラブは何か細々とやっている。連合会と一般会員の意識にギャップがある。役員選挙で、役員会推薦が半数というのは、疑問。(ブロックの配分などは考えているのか?)

**山形クラブ:** 会員は発足時の倍の人数になり、米沢アソシエ

でもできて順調。役員の間では嬉しい悲鳴…活躍している人に声をかけると喜んで会員になる。例会参加者は、必ず会員になる。(ほぼ100%)会員が若いからか? 各会員があちこちで活躍しているからか…。新しく興味を持って入った人が飽きないようにはどうしたらいいかが今後の課題。市の出前講座をしたところ、審議会委員就任要請の依頼がくる。新会員には、バッジや名刺をプレゼントし、贈呈式の写真を撮ってプレゼント。(最初の名刺印刷代はクラブ負担、若い人の連合会関連の参加費をできるだけ負担。)

**大阪クラブ:** 45周年と古いが、会員は32名。(70歳以上が12名もいる)個人の事情などで休会。会費だけ納入の奇特的な会員。(例:土井たか子など)実働できる会員がいない。例会にゲストを連れてきても、なかなか会員にはならない。若い人を一度にたくさん入会してもらって会の雰囲気を変えたい。バザーで資金難を解決。

**京都クラブ:** 40名いた会員がどんどん減少。(役員の努力不足。)魅力あるプログラム作りを。ソロプチミストやライオンズ、ゾクなど他団体に入っていき会員をBPWへ勧誘。

**岐阜クラブ:** 会員の異動があっても数は何とか維持。市や県に男女共同参画条例ができ、市や県から貢献があった団体として表彰をうけた。(新聞にも掲載。)

**愛知クラブ:** 1400万円の中から少しずつ使っているのでは(佐々基子さんからの伝言)高齢化の問題。例会に連れてきても、なかなか会員にはなってくれない。

**東海クラブ:** 会長が元気で一生懸命やらないと会の活性化は図れない。30代女性が休会。40代・50代前半のメンバーもいるが…。クラブ独自の役員会企画や連合会関連の企画など。奨学金のための資金づくり(寄付とバザー等で30万円)

**名古屋クラブ:** 若い人に役員をしてもらったが、なかなか活動できない。例会内容を楽しいものに一時的に変更。(高齢化を生き抜くために…)今の社会では、女性問題ではなく、「男女にかかわらず、どうしたらキャリアアップできるのか?」が問題となる。年齢に関係なく、魅力あるメンバーがいることも重要。

**山梨クラブ:** 会員減は同じ。(入会に推薦2名という個人の資質を問うことを問題視。)県の女性海外研修でBPWニュージーランドと交流した人が入会。ソロプチミストから女性の地位向上に貢献したことで表彰。ブロック研究会が呼びかけの契機に。

**関東クラブ:** 古い会員が多い。楽しい会にしたい。

**武蔵野クラブ:** 人数は増えても維持して繋ぐのが、難しい。もっと心配りが必要。

**東京クラブ:** 例会出席数は10数名。例会のテーマには事欠かない。非常に多忙な人でも、充実した活動であれば、会員増のチャンスはある。

## 会長の総括

会員の年齢が問題になっているが、高齢であっても、そういう年代がBPWを支えなくてはならない。

若いというだけで、ひとくくりにはできない。ターゲットを絞り込んでいく必要がある。

その他、欠席クラブからは文書による意見も頂いておりました。連合会と各クラブがさらに連携して活動したいと思っています。

事務局日より

国連女性の地位委員会へ

第2回インターン派遣

下記のインターン3名は、登録受付が、連合会総会日程と重なってしまったため、2月23日東京で、平松会長・二ノ宮ヤング委員長や第1回インターンらによるブリーフィングの後、一足先に、それぞれNYへ出発しました。帰国後の報告が楽しみです。  
飛田 美樹さん・天沼 宏美さん  
富永 奈奈さん

新役員紹介(2005-2006年)

- ( )は所属クラブ、\*は2期目
- 会長 黒崎伸子(長崎)
  - 前会長 平松昌子(東京)
  - 副会長 木下弓子\*(名古屋)  
佐藤 道子(東京)  
布柴靖枝(仙台)
  - 事務局長 栗林 英子(東京)
  - 会計 藤田ひろみ(福岡)
  - 会計監査 高山 典子(東京)
  - 常任委員会委員長
  - 企画 土田アイ子\*(東京)
  - 組織 牟礼 範子\*(香川)
  - 国際 山野 幸子(札幌)
  - 広報 佐藤 道子(役員兼務)
  - 財務 塩崎 智子\*(和歌山)
  - ヤング 二ノ宮寛子\*(東京)

会報および名簿の発送について

会報は3月6日に発送、また、名簿は3月中旬に発送予定です。

kongress関連

- ・4月評議会までに、kongress参加者報告用紙を配布予定。
- ・決議案・規約改正案については、近日中に各クラブへ連絡します。
- ・BPWIヤング委員長に二ノ宮寛子さんが立候補しました。みなさん、応援宜しくお願いします。

**編集後記:** 年末からの総会準備や評議会準備・会報作成のうちに広報委員長が失速状態…。総会前に発行する新年度最初のニュースレターが2ヶ月も遅れ、申し訳ありませんでした。今回は、評議会後に各クラブ代表から寄せられた貴重な意見を掲載しました。連合会は各クラブの支えで運営されることをお互いに確認し、よりactiveな活動の展開を祈っています。(K)

第25回 BPWI スイスkongress(BPWI 創立75周年記念)

～ “リーダーシップ”・“ネットワーキング”・“BPWI の組織強化”～

2005年6月17日[金]～20日[月] スイスルツェルン市

今年6月、記念すべきkongressがスイスで開催されます。今回のkey wordのうち、「リーダーシップ」と「ネットワーク」は日本の働く女性に強く求められる資質ではないでしょうか。海外の仲間との交流のなかで、これらを学ぶいい機会だと思います。日本から多くの会員が参加されることを期待しています。

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

<b>17日(金)</b>	9:00-11:00	リージョナルミーティング
	12:00-13:30	BPWI評議会
	14:00-15:30	ワークショップ:決議案及び規約改正案に関する討議
	17:30-19:30	オープニングセレモニー(会場:KKLアート&カルチャーセンター) 世界女性銀行頭取・ネスル最高経営者・エジプト大統領夫人等参加予定 会長夕食会
	19:30-21:30	会長夕食会
<b>18日(土)</b>	9:00-10:00	パネルディスカッション「組織におけるリーダーの役割」 エジプト大統領夫人、メキシコ首相夫人や経済界やイタリアからのトップリーダー等参加予定
	10:00-12:30	ビジネスセッション
	11:00-12:30	リーダーシップセッション 各種セミナー・英・仏・独・伊各言語でのセミナー、ヤングBPWセミナー等
	12:30-13:30	BPWワークショップ
	12:30-13:30	ネットワーキング「ポリティシャンズランチ」(政治家参加のランチ)
	14:00-15:00	パネルディスカッション「企業におけるリーダーシップ」(世界女性銀行頭取他)
	15:00-17:30	ビジネスセッション
	15:30-17:00	リーダーシップセッション (ポストパネルディスカッション)
	16:00-18:00	サイドイベント「ムバラク国際女性平和運動WIPM / Women International Peace Movement」
	19:00-22:00	ガラ・晩餐会
<b>19日(日)</b>	9:00-10:00	パネルディスカッション「ヤングBPW」
	10:00-12:30	ビジネスセッション
	11:00-12:30	リーダーシップセッション (ポストパネルディスカッション)
	12:30-13:30	ネットワークズランチ(CEDAWメンバー等参加のランチ)/ヤングBPWランチ BPWワークショップ
	14:00-15:00	パネルディスカッション「国連」…ガリ元国連事務総長他、国連の関係者参加
	15:00-17:30	ビジネスセッション
	15:30-17:00	リーダーシップセッション (ポストパネルディスカッション)
	18:00～深夜	BPWI友の会(フレンド)行事/リジ山頂にてアルプス風ブッフェ
<b>20日(月)</b>	9:00-9:45	パネルディスカッション「リーダーシップとemotional intelligence」 (世界女性銀行頭取ほか参加予定)
	9:45-10:00	フィードバック「パネルやワークショップのまとめ」
	10:00-12:30	ビジネスセッション
	11:00-12:30	リーダーシップセッション「若いビジネスリーダーの証言」
	14:00-16:00	ビジネスセッション
	16:00-18:00	評議会
	19:00-	さよならパーティー
<b>21日(火)</b>	8:30-	企業訪問 新旧役員引継ぎなど

メイン会場 Art and Culture Center (KKL)  
kongress・ホテル:ホテル・パレス Hotel Palace (シングル:220ユーロ、ダブル:307ユーロ、他)他にも五つ星ホテル～一つ星以下ホテル、B&Bなど登録時申請可能  
登録料 770ユーロ/(但し3月31日迄のオンライン登録・入金の場合700ユーロ)  
この中には18～20日の行事参加費・食事・飲み物費用等が含まれます。  
登録申込 オンライン登録 <http://www.bpw-international.org/congress2005/>、または、FAX(+41 41 227 17 18)同サイトから申込書をダウンロードして記入・送信。  
その他 参加者は、各自お申し込みの上、参加日程・メールアドレス(又はFAX番号)を連合会事務局までお知らせ下さい。kongress準備委員会より各種の情報をご連絡します。問い合わせ/E-mailにて [office@bpw-japan.com](mailto:office@bpw-japan.com)